

小集計表(クラス単位)

< 集計用紙 >

() 年 () 組

番号	未処置歯・喪失歯 (乳歯+永久歯) 人数(本数)◆	処置歯 (乳歯+永久歯) 人数(本数)◆	未処置歯 永久歯(D) 本数	処置歯 永久歯(F) 本数	喪失歯 永久歯(M) 本数	GO 人数	G 人数	CO (乳歯+永久歯) 人数
1	()	()						
2	()	()						
3	()	()						
4	()	()						
5	()	()						
6	()	()						
7	()	()						
8	()	()						
9	()	()						
10	()	()						
11	()	()						
12	()	()						
13	()	()						
14	()	()						
15	()	()						
16	()	()						
17	()	()						
18	()	()						
19	()	()						
20	()	()						
21	()	()						
22	()	()						
23	()	()						
24	()	()						
25	()	()						
26	()	()						
27	()	()						
28	()	()						
29	()	()						
30	()	()						
31	()	()						
32	()	()						
33	()	()						
34	()	()						
35	()	()						
36	()	()						
37	()	()						
38	()	()						
39	()	()						
40	()	()						
41	()	()						
42	()	()						
43	()	()						
44	()	()						
45	()	()						
合	未処置歯のある者 (乳歯+永久歯)	処置完了者 (乳歯+永久歯)	エ(D計)	オ(F計)	カ(M計)	ケ(GO計)	コ(G計)	サ(CO計)
	イ①◆	ウ②◆	本	本	本	人	人	人
計	被験者数 ア		未処置歯+処置歯+喪失歯 (永久歯)本数合			永久歯のむし歯 経験者数 (DとMとFが1本 でもある人数)		ク
			人			本		人

* 集計上の注意

- ◎ むし歯所有者:未処置歯のある者(乳歯+永久歯)+処置完了者(乳歯+永久歯)
 - ①未処置歯のある者[イ]:乳歯においては未処置歯、永久歯においては未処置歯又は喪失歯のいずれかを1本でも有する者の人数
 - ②処置完了者[ウ] :乳歯、永久歯いずれもすべての処置を完了している者の人数
 - * 未処置歯数(乳歯+永久歯)・喪失歯数(永久歯)と処置歯数(乳歯+永久歯)が共に0の者は処置完了者には該当しない
 - * 未処置歯(乳歯+永久歯)・喪失歯(永久歯)が存在する場合、処置完了者には該当しない
- ※ 上記小集計表の◆印、未処置歯(乳歯+永久歯)・喪失歯(永久歯)[イ]や処置歯(乳歯+永久歯)[ウ]については、本数は必ずしも記入する必要はない
- ※ 要注意乳歯は集計の対象としない
- ◎ むし歯経験者数[ク]とは、永久歯の未処置歯、処置歯、喪失歯のいずれかが1本でもあるものの人数を記入する。したがって処置完了者も含まれる。
- ◎ 被験者数[ア]とは乳歯永久歯の有無にかかわらず検査を受けたもの全員の人数を記入する。
- ◎ 未処置歯とはC、2次う蝕をさす。
- ◎ 処置者とはOをさす
- ◎ 喪失歯とは△をさす。ただし外傷、矯正などむし歯以外の原因による喪失歯▲は除く。
- ◎ 永久歯むし歯経験者率[タ]=むし歯経験者数[ク]÷被験者数[ア]×100
- ◎ 永久歯一人平均むし歯経験歯数(DMFT)指数[ソ]=未処置歯総本数
 処置歯総本数 総合計[キ]÷被験者数[ア]
 喪失歯総本数
- ◎ GO[ケ]、G[コ]、CO[サ]については人数を記入する。
- ◎ CO[人数、保有者率]については永久歯・乳歯を含めて対象とする。

